

東 魂



埼玉県立越谷東高等学校
剣道部通信
第 37 号 2021/4/20

『令和 3 年度春季東部支部高校剣道大会④』

染谷 優友

今回の試合では前回のような勝って負けての繰り返しの試合よりみんなで引き分けて繋いでチームで勝つというような流れを意識しました。そのおかげでチームみんなで3位で県大会のシードを取得しました。結果は3位でしたがこの結果に満足せずチームで勝つにはどうすればいいのかを自分たちで考えてもっと高みを目指してやがては準優勝、優勝を勝ち取って行きたいです。試合内容では引き分けていい時に無理をして勝ちに行き結果失敗するという試合がありました。結果としてあまりチームに貢献できませんでしたが、負けたあとや自分にとって納得の行かない審判や判定だったとしてもそれを態度に出さずしっかりと礼法と所作をしっかりとやっチームの応援も頑張りました。まだ二年として始まったばかりなのでこれからからなる高みを目指して頑張ります。



鶴木 庵慈

試合を見て、竹刀の精密な動きや足の運び方、打つまでの立ち回りが中学剣道とは違い、中学のやり方から新しく生まれ変わる必要だという事が大会を通して分かった。そして、上段や突きなどを使う相手と試合などを見て、対応の仕方を身につけ、それらに打たれなくされないように、それも変わっていく必要があるということが分かった。それらをこれからの稽古の中で成長をできるようにする。

小笠原 基晴

この2日間試合を外から見ていて試合をしている先輩方の背中がとても心強く見えたし、チームの一致団結を強く感じました。また、先輩方を見ていてチームの在り方を学ぶことが出来ました。これから県大会の団体戦、個人戦があるので先輩方の少しでも良い稽古相手になれるように、日々の稽古に励みたいと思います。

酒井 泰我

僕はこの2日間を通して成長できたことが多くありました。一日目の団体戦は初めての高校の公式戦で先輩方の試合にける思いや気持ちが見ているこちらからも感じ取ることが出来ました。そしていざ自分が試合に出させていただいた時は緊張という気持ちが大きく高校のルールである鏝迫り合いから間合いを完全にきる前に攻めてはいけないということが出来ずに反則を貰ってしまいました。しかしなんとか攻めていく中での面を見せての小手を決めて勝つことができました。団体戦にでて先輩方の気持ちの繋がりがとても伝わってきました。2日目はサポート役としての仕事はよく果たすことが出来ていたと思いますが、とっさの挨拶など基本的な事を疎かにしてしまう場面があったので今後の学校生活からそこを意識して直していきたいと思います。この2日間は自分にとってとてもいい経験になったのでこれからの試合や稽古、基本的な生活面にも活かしていきたいと思

【個人戦】 小林瞬也 ベスト8(県大会出場)

参加選手: 小林瞬也 植竹未来翔 笹原真翔 重見拓海 長宗智恵美 小島麻陽